

市之川公民館だより 令和7年11月号 (No.623号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「9月末現在」

Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 7人(男3人・女4人)

eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 5世帯

※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

11月 霜月（しもつき）

朝夕とめっきり寒くなってきました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。
市之川公民館では令和8年3月末日の閉館に向け、10月から考古歴史館への移転作業が始まりました。

しかしながら、皆さま方から頂いた、写真や鉱物等の移転は対象外となっております。よって、これらについては3月末日の閉館まで見学が可能です。

是非、市之川公民館へお越し頂き、写真等を見ながら思い出話に花を咲かせて下さいますよう、心からお待ち申し上げております。

《11月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
3	月	祝 文化の日
16	日	臨時休館（飯岡総合文化祭に参加）
23	日	祝 勤労感謝の日

※ 9月9日（火）公民館の様子



※ 西条高校から

9月9日（火）西条高校商業科「輝安KOU房」の生徒11名が来館。市報の10月号に掲載するための写真撮影です。先生からの要望もあり、私も一緒に撮らせて頂きました。「ありがとう!! 市之川公民館」の言葉がジーンとききます。



撮影場所を検討中

※ 社会福祉協議会市之川支部との合同事業【9月13日（土）】

市之川公民館では社会福祉協議会市之川支部と合同で【敬老の家事業】を行いました。今回の事業が最後となることから、大町公民館長・飯岡公民館長をお招きし、防災や市之川地区に関連する事業についてのお話を頂きました。また、「市之川鉱山の未来を考える会」の梶本事務局長からは「市之川鉱山の保存と事例紹介（兵庫県明延鉱山）」がありました。



準備中



大町公民館長あいさつ



飯岡公民館長あいさつ



「市之川鉱山の未来を考える会」の梶本事務局長による講演



昼食会



座談会

本日をもって「市之川カラオケ会」は終了しました。

※ 加茂川での自然観察会

9月23日（火）愛媛大学の白勢洋平氏をお招きし、自然観察会を開催しました。当日はあいにくの小雨でしたが、46名（内西条高校からは25名）の参加がありました。西條神社参集殿において、白勢氏による講演のあと、加茂川河川敷へ移動して、鉱物等の観察を行いました。

講演10時～10時50分
演題：「三波川変成帯と加茂川ひすいについて」
白勢 洋平 氏（愛媛大学講師）



偶然にも白勢先生と同じTシャツ。思わず撮らせて頂きました。



講演会は満席となりました。

11時～12時 加茂川での鉱物等の観察



スタッフを交えてのお食事も



白勢氏による鉱物鑑定



令和7年度 美術館が10倍楽しくなる講座

主 催 佐伯記念館・郷土資料館／丹原公民館／丹原図書館
会 場 丹原公民館 ホール
受講申込 11月22日（土）までに公民館に設置している受講申込書をご提出又は電話でお申込みください。
定 員 100名（入場料無料）

〈第1回講座〉 令和7年12月14日（日）9:40～11:55（受付9:10～）
① 歌と朗読のコンサート 出演 ナースログ
② 講演 「水の都・西条からみる愛媛の美術」～日本美術（近代洋画）家からのメッセージ～
講 師 愛媛県美術館専門学芸員 喜安嶺
〈第2回講座〉 令和8年1月25日（日）13:30～15:45（受付13:00～）
① 絵本などの朗読コンサート
② 講演 「やなせたかしの人生と作品世界」
講 師 （公財）やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団 事務局長 仙波美由記
【申込先・問合せ先】
〒791-0508 西条市丹原町池田1711番地1
西条市佐伯記念館・郷土資料館
TEL（0898）68-4610

2025年10月10日

～毎月10日は人権を考える日～

「発達障がいへの偏見」は、理解者の一言で解消される

各公民館や各集会所で、人権・同和教育地区別懇談会が行われています。先日、ある公民館で行われた地区懇に参加させていただきました。20分ほどの啓発DVDを見て話し合いを行いました。その内容は、障がいがある方、そして、外見からは分からない障がいや病気のある方をどう支援していけばいいのか考え、それぞれの方への支援の仕方を学びました。

DVDの中に大学生の「しゅうせい」という方がおられました。「しゅうせい」さんは、てんかんと発達障がいがあります。見た目では困っていることがあるとは分かりにくいのです。てんかんについては、周囲はどのように対応すればよいのか主治医さんからの話を聞きました。発達障がいによりコミュニケーションが苦手なことについては、母の広子さんから興味深い話を聞きました。中学時代に、発達障がいをよく理解してくださる校長先生と巡り合ったそうです。その校長先生が退職されるときに、壇上で感極まって涙を流しながら「ありがとう。ありがとう。」とおっしゃったそうです。すると、「しゅうせい」さんが「どういたしまして。」と答えたのです。その場の雰囲気をつかみにくいのが発達障がいの特徴です。すかさず校長先生は、「ナイスしゅうせい！」と返したのです。このことにより、会場はさわやかな笑いの渦となり、生徒、教職員が気持ちよく校長先生を送り出したとのことです。

校長先生の「ナイスしゅうせい！」の言葉はどうして発せられたのでしょうか。校長先生と「しゅうせい」さんとの交流の賜物でしょう。「しゅうせい」さんのことをよく理解して受け入れていたからこそ出てきた言葉なのでしょう。この校長先生の返しの言葉によって、何が変わったのでしょうか。「しゅうせい」さんの発達障がいを知らない生徒もたくさんいたと思いますが、きっと「しゅうせい」さんのことを、楽しい子、おもしろい子と好意的に受け入れたのではないのでしょうか。校長先生の「ナイスしゅうせい！」がなかったら、変わった子と否定的に受け止める生徒が多かったのではないかと想像できます。校長先生の一言によって、生徒のほとんどが、「しゅうせい」さんのことを好意的に受け止めたことでしょう。「しゅうせい」さんの発達障がいを丸ごと受け止めた校長先生の言葉が、その場にいた多くの人々の心を変えたのではないのでしょうか。

私たちの周囲にも、発達障がいのように見えにくいものがあると思います。変わった人と見える方は何に困っているのだらうと、こちらが見ていくことが大切なのではないかと考えます。コミュニケーションを取る中で困っていることを見つけ、その方に対してどのように接していくかが私たちの課題ではないのでしょうか。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

西条市スポーツ推進委員協議会よりお知らせ
「穂・浦・歩 SSウォーキング大会」を開催します！

開催日時：11月30日（日） 受付 8時30分～ 出発式 8時50分
会 場：西条市立石根小学校（スタート・ゴール）
コ ー ス：小松地区の自然や歴史に触れながら歩くことができる約6.5km
申込締切：11月17日（月）必着
申込方法：申込フォームまたは申込先にある申込書（コピー可）に記入して提出。
申込フォーム は、申込書および西条市ホームページに掲載しています。（組織でさがす→スポーツ健康課）
申 込 先：西条市スポーツ健康課、各公民館
問合せ先：西条市スポーツ推進委員協議会事務局（TEL：0897-52-1255）
（西条市スポーツ健康課内）

※天候等により、中止や変更の場合があります。